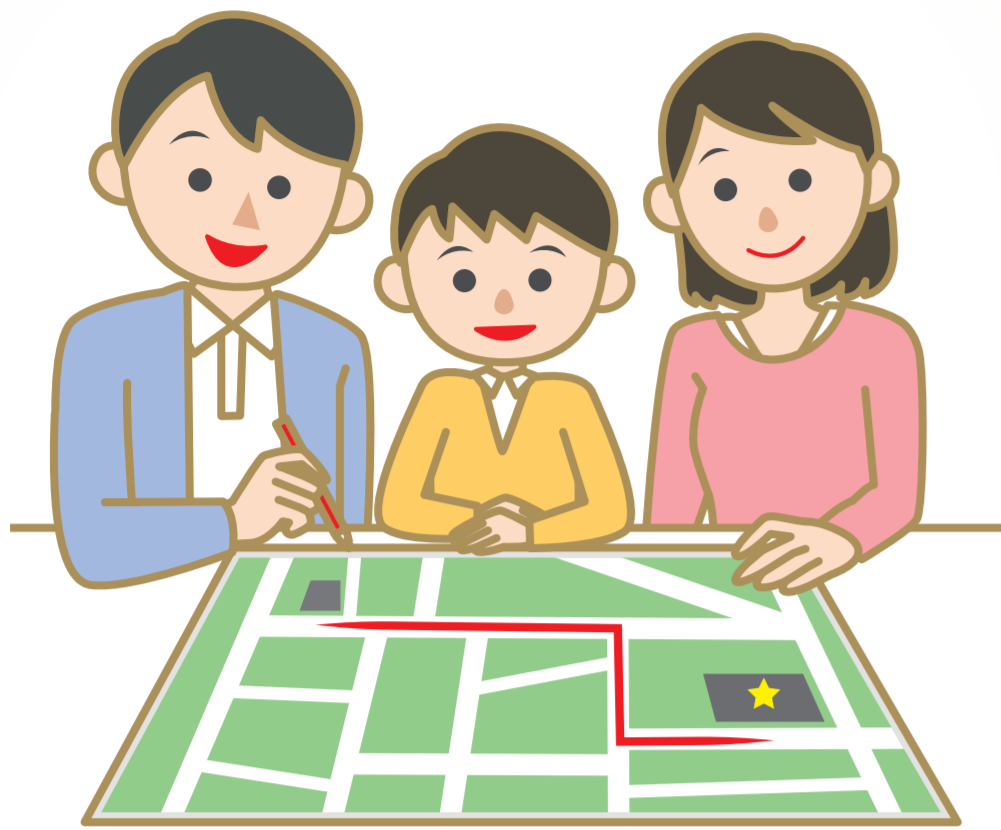


大崎市(鹿島台地区) 内水ハザードマップ



内水ハザードマップとは

大雨によって雨水管などで排水ができない場合や、大崎市が管理する河川から水があふれた場合に、発生が想定される浸水の範囲とその深さを示す「浸水想定区域」と、避難所や避難時の危険箇所などを示した防災マップです。
(市域の一級及び二級河川の氾濫範囲等については、洪水ハザードマップをご参照ください。)

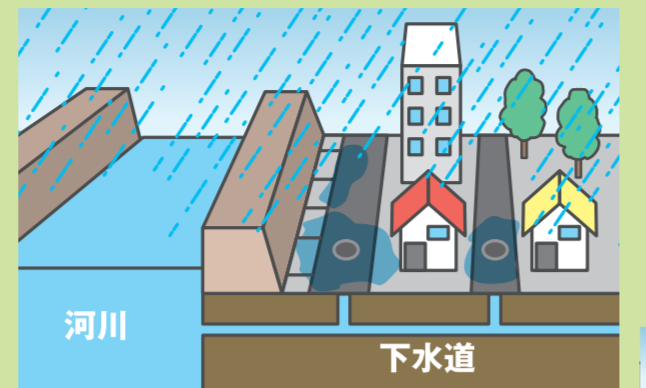
このマップを活用し、ご自宅などで浸水するおそれがないか、避難場所などと併せて確認するとともに、日ごろから大雨による浸水被害に備えましょう。



内水と洪水の違いについて

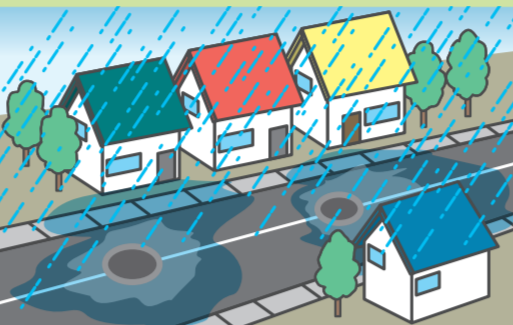
内水はん濫

内水ハザードマップの適用範囲



「内水はん濫」とは、水路や下水道の排水能力を超える雨が降ったときや、河川の水位上昇により排水ができなくなったときに、雨が流れる場を失うことで発生する浸水のことです。

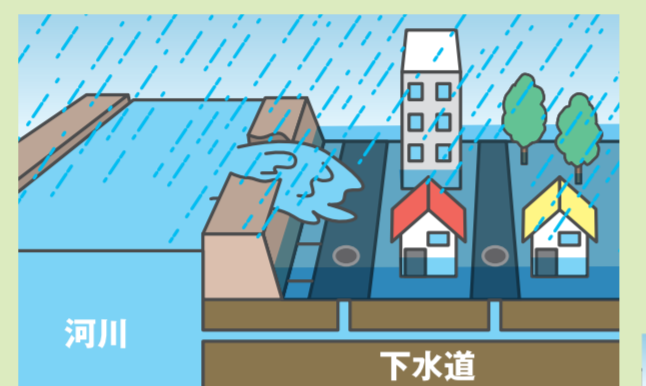
内水ハザードマップの適用範囲は、洪水(外水はん濫)がはじまる前までの範囲となります。



雨が降り続くことにより、洪水(外水はん濫)の危険性が高まります。

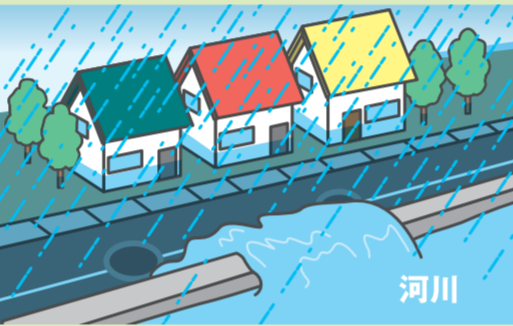
洪水(外水はん濫)

洪水ハザードマップの適用範囲



「洪水(外水はん濫)」とは、大雨によって河川の水位が上昇し、堤防を越えて水があふれたときや、堤防が決壊したときなどに、河川の水によって発生する浸水のことです。

「大崎市洪水・土砂災害ハザードマップ」の適用範囲となります。



目ざらからの備え

ハザードマップの使い方の確認

- 1 自宅の位置と自宅付近の避難場所を確認しましょう。
- 2 低地や危険場所を避けて、避難経路を設定しましょう。
- 3 実際に避難経路を歩いてみて安全を確認しましょう。

自宅付近の、浸水の状況を確認しましょう。自宅がある場所は何色に塗られていますか?「浸水の深さの目安」を参考に確認してください。次に、自宅付近の避難場所マークを確認しましょう。

浸水が深い場所や、危険な場所を避けて避難経路を設定しましょう。
深く浸水する道は避けるようにルートを設定しましょう。

家庭や地域で話し合いながら、実際に歩いてみましょう。避難経路に危険な箇所がある場合には、避難経路を見直しましょう。

避難場所について

市は避難勧告や避難指示を発令する場合、あらかじめ市が指定した避難場所を開発します。ただし避難場所までの経路が冠水して危険と判断された場合など、やむを得ない場合には、自宅や身近な高い建物の2階以上などの高いところに避難してください。

平常時の確認事項

- 自宅の状況を確認 自宅の危険性についてハザードマップから確認
浸水深 ~
- 避難する場所
避難する場所 (第1候補) 避難する場所 (第2候補)
- 避難所までの交通手段
徒歩 分 / 自動車 分
- 避難する際に(支援してくれる)人
① 名前 電話
② 名前 電話

家屋の浸水被害を防ぐには

ご家庭にあるものを使って、家屋への水の流入を防ぐことができます。水深が浅い段階では特に有効です。玄関などの出入口だけでなく、床下への浸水の防止も行いましょう。

<h3>土のう</h3> <p>出入口に土のうなどを使用し、浸水を防ぎます。</p>	<h3>止水板</h3> <p>出入口に長めの板などを使用し、浸水を防ぎます。</p>
<h3>地下室への排水ポンプの設置</h3> <p>地下駐車場、半地下住宅の浸水が増えています。排水ポンプの設置や準備をしておきましょう。</p>	<h3>道路の側溝や雨水ますの集水口の確認</h3> <p>側溝や雨水ますの集水口(グレーチング)に落ち葉などが詰まると確認しましょう。詰まっていたら取り除いておきましょう。</p>

思わぬ場所からの浸水を防ぎましょう

- 満水で下水が逆流すると、トイレや風呂場、洗濯機の排水口などから水が噴きあがることがあります。ビニール袋に水を入れた水のうなどを重しにすると逆流を抑える効果があります。
- 床下が浸水すると、床下収納のふたが開いて水が入ってくる場合があります。あらかじめ重しをして浸水を防ぎましょう。

<h4>洗濯機の排水口からの逆流防止</h4>	<h4>風呂場の排水口からの逆流防止</h4>	<h4>トイレの排水口からの逆流防止</h4>
-------------------------	-------------------------	-------------------------

大雨が降ってきたら

情報を確認し、周囲の状況を判断して適切な行動を!

- 路面の状況に注意しましょう。道路が冠水し始めたら注意が必要です。
- 危険を感じたら適切に行動しましょう。強い降雨が続いたり、道路の冠水が急に大きくなった場合は危険です。2階へ移動する等、安全な場所へ移動してください。
- 地下街や半地下住宅は浸水する可能性が高いので、雨が強くなってきたら早めに安全な場所へ移動してください。
- 地下状道路(アンダーパス)は、大雨時に冠水する危険性があります。大雨時は、通行を避けましょう。

降雨のイメージ

予報用語	やや強い雨 (1時間雨量10~20ミリ)	強い雨 (1時間雨量20~30ミリ)	激しい雨 (1時間雨量30~50ミリ)	非常に激しい雨 (1時間雨量50~80ミリ)
人が受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)
人への影響	跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしていてもぬれる	傘は全く役に立たなくなる	
屋内(木造)	話し声がよく聞き取れない	寝ている人の半数くらいが寝に気がつく		
屋外の様子	地面一面に水たまりができる	道路が川のようなになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	
車に乗っている	ワイパーを速くしても見づらい	高速走行時、ブレーキが効かなくなる		車の運転は危険

令和元年度台風19号の降雨を対象としたシミュレーション結果

